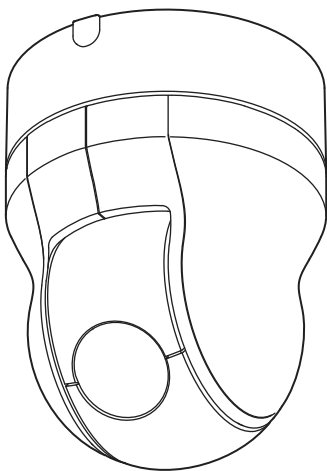


ネットワーク  
メガピクセル PTZ カメラ

N-CC2650M



このたびは、TOA ネットワークメガピクセル PTZ カメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

# ソフトウェア使用許諾契約書

本使用許諾契約書(以下「本契約書」「本契約」)は、同梱の TOA 株式会社製ソフトウェア(以下「本ソフトウェア」)に関して、お客様(個人または団体)と TOA 株式会社(以下「TOA」)との間で締結される法的な契約書です。

本ソフトウェアをインストールまたは使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに同意されたものとします。本契約書の条項に同意されない場合、TOA はお客様に本ソフトウェアのインストールまたは使用のいずれも許諾することはできません。

1. 本契約によって TOA は、非独占的かつ譲渡不能な権利として、お客様に以下のライセンスを許諾するものとします。

お客様は、許諾されたライセンス 1 件につき、1 台のコンピューターで使用することができます。

2. 本ソフトウェアに関するすべての権利および著作権は、TOA が所有しており、本ソフトウェアは著作権法および国際条約の規定によって保護されています。  
また、本ソフトウェアに関するライセンスは、お客様に一切移転されないものとします。
3. お客様は、本ソフトウェアを複製することはできません。
4. お客様は、本ソフトウェアを改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。
5. 本ソフトウェアおよび添付書類は、「商用コンピューターソフトウェア」および「商用コンピューターソフトウェア書類」と見なされ、アメリカ合衆国政府による規制 DFAR Section 227.7202 および FAR Section 12.212(b) にそれぞれ従っています。
6. TOA は、本ソフトウェアを使用したことにより発生した、データ損失、逸失利益、保証金その他いかなる損害についても、お客様に対し責任を負いません。また、TOA は、明示もしくは黙示を問わず、本ソフトウェアに関する一切の保証(商用性および特定の目的に対する適合性などの黙示の保証を含む)をしないものとします。
7. お客様が、本ソフトウェアの不法な複製を行われた場合、または本契約に違反された場合には、即刻もしくは通知より 30 日以内に、本契約を解除することができるものとします。

お問い合わせ先

TOA 株式会社

〒665-0043 兵庫県宝塚市高松町 2 番 1 号

# 目次

安全上のご注意 .....	5
概 要 .....	7
特 長 .....	8
使用上のご注意 .....	9
各部の名称とはたらき .....	12
設置上のご注意 .....	14
DIP スイッチの設定 .....	14
電源設定スイッチ(SW1) .....	14
映像ネットワークシステムを組む前に .....	15
接続のしかた .....	15
適応線材と接続のしかた .....	16
カメラ設置時のご注意 .....	16
設置のしかた .....	
ケーブルを天井裏に引き出す場合 .....	17
天井に穴をあけずに配線する場合 .....	22
接続例 .....	23
N-SD2000 でカメラの映像を見る .....	
カメラ映像を表示する .....	24
N-SD2000 を PC にインストールする .....	25
Windows のユーザーアカウント制御(UAC)の設定を解除する .....	27
N-SD2000 を起動する .....	28
シリアルキー未登録の場合 .....	30

N-SD2000 各部の名称とはたらき .....	32
機器リストを作成する .....	33
スキャンを利用して機器リストへ登録する .....	33
機器リストへ手動で登録する .....	35
PC の IP アドレスの変更のしかた .....	37
カメラ映像を PC で表示する .....	38
カメラ映像をアナログモニターで表示する .....	39
カメラを操作する .....	40
速度設定ウィンドウ .....	41
N-SD2000 を終了する .....	41
 N-SD2000 からファームウェアをアップロードする .....	42
 N-SD2000 をアンインストールする .....	42
 Web ブラウザーでカメラの映像を見る .....	42
 工場出荷時設定の戻しかた .....	
すべての設定を工場出荷時に戻す .....	45
Web ブラウザーで設定した内容を工場出荷時設定に戻す .....	45
カメラ設定を工場出荷時設定に戻す .....	45
工場出荷時設定に戻る項目 .....	45
 故障かな？と思ったら .....	46
 仕 様 .....	49
パーソナルコンピューター要件 .....	51
付属品 .....	52
別売品 .....	52

## 安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。



### 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### 水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。

火災・感電の原因となります。



禁止

#### 水にぬれた手で触らない

水にぬれた手で設置、調整を行わないでください。

感電の原因となります。



禁止

#### 指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

#### コードを傷つけない

本機に接続されたコードを傷つけたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードの上に重いものをのせないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

#### 不安定な場所に取り付けない

ぐらついた所や傾いた所など不安定な場所に取り付けないでください。

落下して、けがの原因となります。



禁止

#### 設置場所の強度を確認する

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取り付けてください。

十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



強制

#### 屋外に設置しない

本機は、屋内専用品です。

屋外で使用すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。また、雨などがかかると、感電の原因となります。



禁止

#### 専用の取付金具を使用する

指定以外の取付金具を使用すると、落下して、けがの原因となります。



強制

#### 指定方法以外の取り付けかたをしない

指定の取付方法を守らないと、無理な力がかかり、落下して、けがの原因となります。



禁止



## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 落下防止に設置補助ワイヤーを取り付ける

取り付けないと、落下して、けがの原因となります。



強制

### 適切なボルト、ナット類を使用する

壁または天井の材質、構造に適したボルト、ナット類を使用してください。守らないと、落下して、けがの原因となります。



強制

### 各部のボルト、ナット類は確実に締め付ける

取り付け後、ゆるみ、がたつきがあると、落下して、けがの原因となります。



強制

### 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

取付部が劣化して、落下などの事故の原因となります。



禁止

### 振動のないところに設置する

取付ねじやボルトがゆるみ、落下などの事故の原因となります。



強制

### 万一、異常が起きたら

次の場合、電源の供給を中止して販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)
- 音が出ないとき
- 0℃以上でも画面が映らないとき



電源プラグ  
を抜く

### 内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

### 内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止

## ⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容  
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、通風口にほこりがたまらないように定期的に掃除をしてください。



禁 止

### 電源配線工事の際には、元の電源を切る

感電の原因となることがあります。



強 制

### 湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。  
火災・感電の原因となることがあります。



禁 止

### 工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。  
適切な工事を行わないと、火災・感電・けがの原因となることがあります。



強 制

### 製品にぶら下らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。  
倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。



禁 止

### お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源を切ってください。  
守らないと、感電・やけど・火災の原因となることがあります。



強 制

### 定期的な点検をする

販売店に、定期的な点検を依頼してください。  
取付金具類の破損や腐食などにより、落下して、けがの原因となることがあります。



強 制

## 概 要

LAN (10BASE-T/100BASE-TX)に直接接続できるプログレッシブ 1.3 メガピクセル CCD センサーを用いたネットワークメガピクセル PTZ カメラです。  
MPEG-4 (画素最大 D1 : 720 × 480) と JPEG (画素最大 SXVGA : 1280 × 960) を同時に配信できます。また、サブバンド ADPCM あるいは PCM による高品質音声を双方向で伝送できます。  
電源は DC24 V に加え、PoE にも対応しておりますので、ネットワーク経由での電源供給により、電源用の別配線を行う必要がありません。水平旋回、垂直動作 150°/s の旋回台と 18 倍の光学ズームレンズを搭載し、任意の位置を最大 64 ポジションまでプリセット記憶でき、記憶させたポジションに瞬時に移動することができます。また、12 倍電子ズーム、ツアー機能、オートパン／オートチルト、オートフリップ、白黒モード、プライバシーマスクを搭載しております。

## 特 長

### ● プログレッシブ 1.3 メガピクセル CCD センサー

プログレッシブ 1.3 メガピクセル CCD センサーを採用しています。  
VGA カメラに比べ画素数約 4 倍の高精細な画像が得られます。

### ● MPEG-4、JPEG 同時配信

MPEG-4 ストリーミング(画素数最大 D1：720 × 480)と JPEG 静止画伝送(画素数最大 SXVGA：1280 × 960)の 2 種類を同時に配信できます。

### ● 双方向の音声伝送

音声入出力(ライン入力、ライン出力)を搭載し、双方向の音声伝送ができます。

### ● Web サーバー内蔵

Web サーバーを内蔵し、Web ブラウザーを使用してアクセスできます。

### ● ネットワークソフトウェアデコーダー

付属のネットワークソフトウェアデコーダーを使用して、監視システムとして使用できます。

### ● PoE 対応

PoE に対応しているため、ネットワークケーブル 1 本でカメラ側に電源を供給できます。カメラの設置場所ごとに電源を用意する必要がなく、設置の自由度が大幅に向上します。(PoE：Power over Ethernet の略。IEEE802.3af に準拠した規格で、10BASE-T/100BASE-TX などのネットワークを使用し、通常のデータ伝送と同時に電源を供給することができ  
ます。)

※ DIP スイッチによる設定が必要となります。(P. 14 参照)

### ● 18 倍光学ズームレンズ内蔵

18 倍光学ズームレンズが搭載されていますので、広範囲で画角を調節できます。

### ● デイナイトモード

赤外線カットフィルターを機械的に抜き差しすることで、明るい場所ではカラーカメラ(デイモード)、暗い場所では高感度白黒カメラ(ナイトモード)として機能します。

### ● E-WDR

映像のコントラストを改善する機能です。画面内に屋内と屋外などで明るさの違う部分があり、明暗差が非常に大きい場合には、その差を少なくして視認性を改善します。

### ● プリセット記憶

カメラポジションを最大 64 カ所プリセットすることができます。



## 使用上のご注意

### [使用環境に関して]

- 高温・多湿で長時間連続使用しますと、部品の劣化により寿命が短くなります。40℃以下でご使用になることを推奨します。
- 周囲温度が0℃以下の場合は、常時通電状態で使用してください。0℃以下で電源を入れると、正常動作しません。
- 粉塵の多い場所、腐食性ガスが発生する場所、可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所、プールなど薬剤を使用する場所には設置しないでください。

### [設置に関して]

- 振動の多いところには設置しないでください。また、本機は車載用ではありません。車輛や船舶などには設置しないでください。
- 強度が十分にあるコンクリートの壁面などに取り付けてください。特に専用の屋外用ドーム型取付金具を用いてポールへ取り付ける場合、揺れが大きくなることのないよう、ポールの強度には十分に配慮し、揺れや取り付け強度に問題ない高さに確実に取り付けてください。また、風を受けやすいものと同一のポールに設置しないでください。
- 天井、壁面、ポールに取り付けるためのボルト、ナット類は付属されていません。取り付け場所の材質および強度、総重量などを考慮し、十分な強度が得られるものを別途ご用意ください。
- 設置する際は落下を防止するため、設置補助ワイヤーを取り付けてから作業を行ってください。
- 本機は吊り下げ専用です。カメラレンズ部を下向きに、鉛直に取り付けてください。斜めに取り付けしないでください。正しく取り付けられていないと故障の原因となります。
- 本機へ接続するときノイズ障害が考えられる場合は、カテゴリ 5 規格以上のシールド付 LAN ケーブル(STP)を使用してください。
- LAN ケーブル、音声ケーブルを配線するときは、電気製品(蛍光灯)など、他の配線には近づけないでください。近づけて配線すると、画質や音質の低下をまねくことがあります。このようなときは、配線を離してください。
- ケーブルが傷つかないように設置し、張りを考慮し余裕を確保してください。
- 本機には、電源スイッチがありません。カメラの電源が入／切できるように電源工事を行ってください。
- カメラのすべての配線(他の機器との接続)が完了していることを確認してからカメラの電源を入れてください。
- PoE 対応のスイッチを使用する場合は、スイッチから電源供給されますので、DC24 V を接続しないでください。
- テレビの送信アンテナやモーター・トランスなどの強い電界や磁界の近くでお使いになると、モニターの画面がゆがんだり、ゆれたりすることがあります。このような場合は、ケーブル専用の薄銅電線管を設けて通線してください。
- 電源を DC24 V で使用する場合は、別売の AC アダプター AD-246 をお使いください。それ以外の電源を使用する場合、外部電源は定格 DC24 V、600 mA 以上のものをお使いください。

## [使用に関して]

- 長時間使用していると、プリセットポジションがずれたりすることがあります。このような場合には、カメラのタイマー機能をご使用ください(ネットワークメガピクセル PTZ カメラ N-CC2650M 設定説明書「PTZ 制御」設定 参照)。タイマーのアクションで「PTZ 再起動」を設定することにより、原点位置の再検出を行ってポジションずれを回復させることができます。手動で行いたい場合には、設定パネルのメンテナンスから「PTZ 再起動」を実行してください(ネットワークメガピクセル PTZ カメラ N-CC2650M 設定説明書「メンテナンス」参照)。
- 望遠側でオートパンなど速度の遅い動作をした場合、モーターの特性上なめらかな動作にならないときがあります。広角側で使用することでモーター特性の影響を低減できます。
- チルト角度が +10° 以上および -190° 以下ではカメラのケースが映像上に黒く映り込みます。
- レンズ面を太陽や強い照明・反射に向けないでください。CCD 内部の色フィルターが劣化して、画像が変色することがあります。
- 強い振動や衝撃を与えないでください。故障・破損の原因となります。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。
- レンズ面にはこりが付いたときは、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

## [ネットワーク環境に関して]

- IP アドレス、サブネットマスクを設定する必要があります。
- ユニキャストで複数配信する場合、フレームレートが落ちることがあります。
- マルチキャスト機能を使用する場合、ネットワークがマルチキャストに対応している必要があります。
- 複数接続の場合、受信側の要求データレートが異なると、要求データレートの中の最小データレートでの通信になります。
- ストリーミングの場合、接続がないときでもカメラからデータは常時ネットワークに流れます。
- ネットワークメガピクセル PTZ カメラの初期設定には、ネットワークソフトウェアデコーダーまたはネットワークレコーダーが必要です。
- ネットワークソフトウェアデコーダーは Macintosh や Unix の OS には対応していません。
- 消耗品について

次の部品は消耗部品です。寿命時間、回数を目安に交換してください。

なお、以下の寿命時間、回数は保証値ではありません。使用環境や使用条件によって部品の劣化が促進される場合があります。特にオートパン、オートチルト、ツァーなど、連続で動作する使用方法では消耗部品の寿命が低下しますのでご注意ください。

消耗部品の交換は、保証期間内であっても有償となります。

- |           |             |               |           |
|-----------|-------------|---------------|-----------|
| ・レンズ      | : 5 万動作     | ・パン軸 FFC ケーブル | : 150 万動作 |
| ・チルト軸ケーブル | : 10 万動作    | ・ファン          | : 3 万時間   |
| ・モーター     | : 150 万回転 * |               |           |

\* カメラの回転数に換算した値となります。

## MPEG-4 特許ライセンスに関するご注意

本製品は、画像情報の取扱いに関して、MPEG 技術(MPEG-4 VISUAL STANDARD)を使用しており、同技術の使用に関しては、特許管理団体 MPEG LA,LLC. の許諾を受けております。

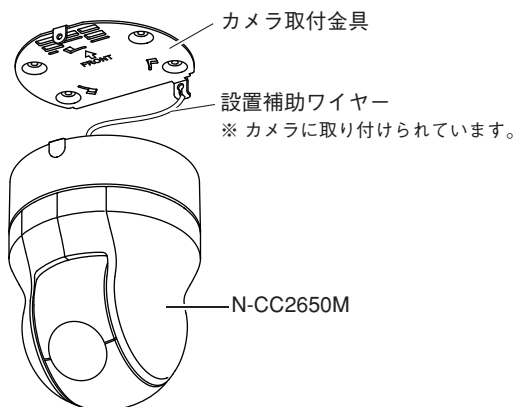
以下の場合を除いては、本製品のご利用が禁止されていますので、ご注意下さい。

MPEG 技術利用者の個人的使用及び非営利的な使用であって、(i) MPEG-4 VISUAL STANDARD に適合するビデオ(以下、「MPEG-4 ビデオ」)の符号化、及びまたは、(ii)個人的使用及び非営利活動に従事する MPEG 技術利用者により符号化された MPEG-4 ビデオ、及びまたは、MPEG LA,LLC. からライセンス許諾されているビデオ・プロバイダーから提供された MPEG-4 ビデオの復号化。

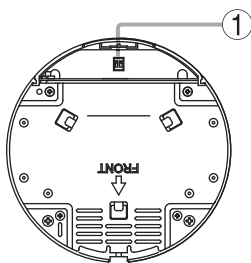
なお、販売促進のための使用、営利目的の使用、並びに、ライセンスに関する追加情報は、MPEG LA,LLC. までお問い合わせ下さい。

[HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) をご覧下さい。

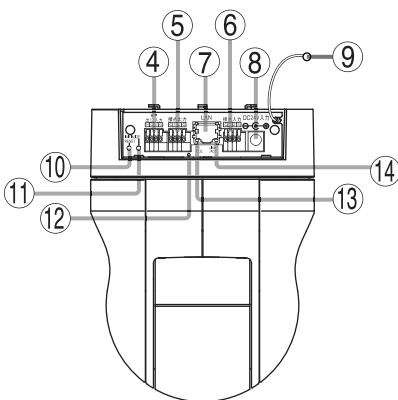
# 各部の名称とはたらき



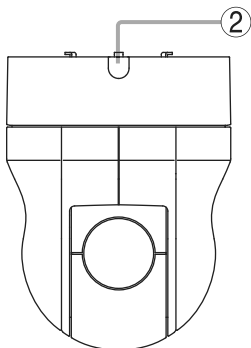
[ 上面図 ]



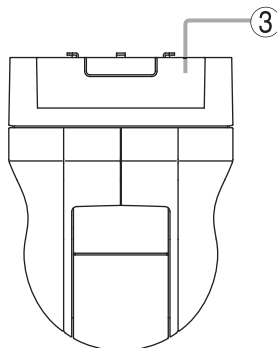
[ 背面端子部 ]



[ 正面図 ]



[ 背面図 ]



## ① DIP スイッチ

電源供給方法の設定をします。  
(P. 14 「DIP スイッチの設定」)

## ② カメラ固定ねじ部

カメラとカメラ取付金具を固定します。

## ③ 端子カバー

配線後に背面端子を隠すカバーです。

## ④ 音声入出力端子

音声入出力を接続します。  
(P. 15 「接続のしかた」)

## ⑤ 接点出力端子

接点出力を接続します。  
(P. 15 「接続のしかた」)

## ⑥ 接点入力端子

接点入力を接続します。  
(P. 15 「接続のしかた」)

## ⑦ ネットワーク端子(LAN)

10BASE-T/100BASE-TX に接続します。

## ⑧ 電源入力端子

電源に接続します。(DC24 V、600 mA)

## ⑨ 設置補助ワイヤー

カメラ取付金具に取り付けます。  
(P. 17 「設置のしかた」)

## ⑩ リセットスイッチ(RESET)

PTZ 制御部とネットワーク機能の両方を再起動します。

## ⑪ 初期化スイッチ(INITIALIZE)

Web ブラウザーで設定した内容を工場出荷時設定に戻します。  
(P. 45 「工場出荷時設定の戻しかた」)

## ⑫ READY LED (緑)

起動状態で点灯します。起動中は速い点滅をします。また、ファームウェアの書き換え中は、ゆっくりと点滅します。

## ⑬ FD/COL LED (黄)

全二重モードで通信しているときは黄色に点灯し、半二重モードのときは消灯しています。ネットワーク上でコリジョンが発生しているときは点滅します。

## ⑭ LINK/ACT LED (緑)

ネットワークに正常に接続されているときは緑色に点灯し、データが送受信されると点滅します。

## 設置上のご注意



### 警告

本機の重量は 1.3 kg あります。取付位置の強度を確保してください。落下によるけがの原因となります。

### ご注意

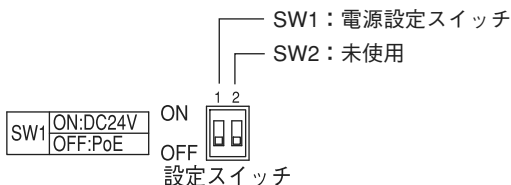
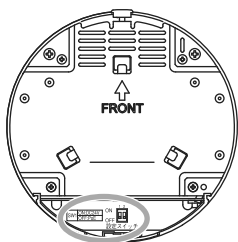
- 強度のある天井(コンクリート天井など)に取り付けてください。
- カメラだけで設置するときは、背面の端子カバーは取り付けできません。端子部の露出を防ぐ場合は、カメラ天井直付金具 C-BC602A (別売品)を使用してください。
- 十分な取付強度が得られない天井(二重天井)に直付けする場合は、カメラ天井直付金具 C-BC602A (別売品)を使用してください。
- カメラを天井に埋め込んで使用する(カメラ露出部分を小さくする)場合は、カメラ天井埋込金具 C-BC602U (別売品)、C-BC602U-S (別売品)を使用してください。\*1、\*2
- カメラを壁面に取り付けて使用する場合は、カメラ壁取付金具 C-BC602W (別売品)を使用してください。
- カメラを天井から吊り下げて使用する場合は、カメラ天井吊下金具 C-BC602P (別売品)を使用してください。
- カメラを屋外で使用する場合は、屋外用ドーム型取付金具 C-BC602H (別売品)を使用してください。\*1

\*1 ドームカバーの影響により解像度が低下します。

\*2 C-BC602U には、ドームカバー部を取り外して設置することができる補助カバーを付属しています。補助カバーを使用すると、ドームカバーの影響をなくした状態で天井に埋め込み設置できます。

## DIP スイッチの設定

DIP スイッチはカメラユニット上面にあります。



### ● 電源設定スイッチ(SW1)

PoE にてネットワーク経由で電源供給する場合は「OFF」に、DC24 V 電源による供給や屋外用ドーム型取付金具 C-BC602H (別売品)で設置する場合は「ON」に設定してください。  
(工場出荷時：OFF)

**ご注意** SW2 は未使用です。「OFF」の状態で使用してください。

## 映像ネットワークシステムを組む前に

映像ネットワークシステムを組むときは、以下の取扱説明書を参照してください。

### 1. 接続をする

基本的な接続のしかた : ネットワークメガピクセル PTZ カメラ取扱説明書 (本紙)

### 2. ソフトウェアデコーダー N-SD2000 をインストールする

基本的なインストール : ネットワークメガピクセル PTZ カメラ取扱説明書 (本紙)

詳細のインストールについて : ソフトウェアデコーダー取扱説明書

### 3. 初期設定をする

基本的な初期設定 : ネットワークメガピクセル PTZ カメラ設定説明書

詳細の初期設定 : ソフトウェアデコーダー取扱説明書

### 4. 動作確認をする

基本的な動作 : ネットワークメガピクセル PTZ カメラ取扱説明書 (本紙)

詳細の動作確認 : ソフトウェアデコーダー取扱説明書

## 接続のしかた

[ネットワーク端子]

10BASE-T/100BASE-TXに接続します。

[接点出力端子]

	端子名称
1	COM
2	接点出力 1
3	接点出力 2
4	COM

[音声入出力端子]

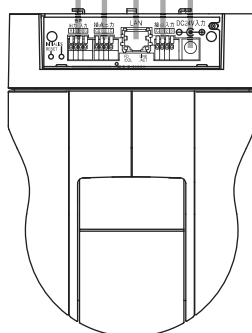
	端子名称
1	音声出力 H
2	音声出力 G
3	音声入力 H
4	音声入力 G

[接点入力端子]

	端子名称
1	COM
2	接点入力 1
3	接点入力 2
4	接点入力 3

[電源入力端子]

別売の AC アダプターを接続します。(DC24 V)



## ■ 適応線材と接続のしかた

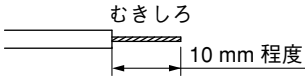
対象コネクター：音声入出力、接点入力、接点出力

適応線材

単線 :  $\phi$  0.41 mm  $\sim$   $\phi$  0.64 mm (AWG26  $\sim$  AWG22)

より線 : 0.13 mm<sup>2</sup>  $\sim$  0.32 mm<sup>2</sup> (AWG26  $\sim$  AWG22)

### 1 ケーブルの被覆を 10 mm 程度はがす。



### 2 ドライバーなどで端子上のボタンを押しながら、ケーブルを挿入して接続する。

メ モ ケーブルを軽く引っ張って抜けないことを確認してください。

## ■ カメラ設置時のご注意

- LAN ケーブル、音声ケーブルを配線するときは、電気製品(蛍光灯)など、他の配線には近づけないでください。近づけて配線すると、画質や音質の低下をまねくことがあります。このようなときは、配線を離してください。
- 本機へ接続するときノイズ障害が考えられる場合は、カテゴリ 5 規格以上のシールド付 LAN ケーブル(STP)を使用してください。
- テレビの送信アンテナやモーター・トランスなどの強い電界や磁界の近くでお使いになると、ビデオモニターの画面がゆがんだり、ゆれたりすることがあります。このような場合は、ケーブル専用の薄鋼電線管を設けて通線してください。
- カメラのすべての配線(他の機器との接続)が完了していることを確認してからカメラの電源を入れてください。



# 設置のしかた

## ● ケーブルを天井裏に引き出す場合

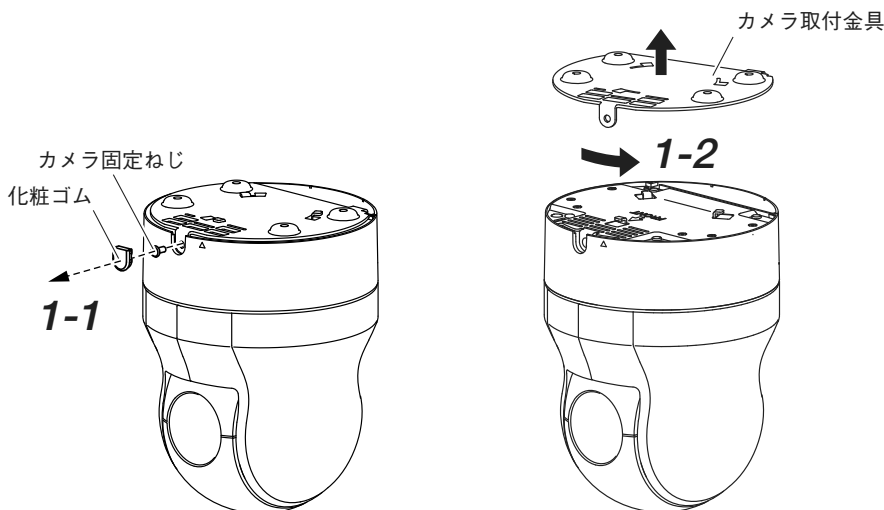
**ご注意** カメラ設置時は、電源を切ってから工事を行ってください。

### 1 カメラからカメラ取付金具を取り外す。

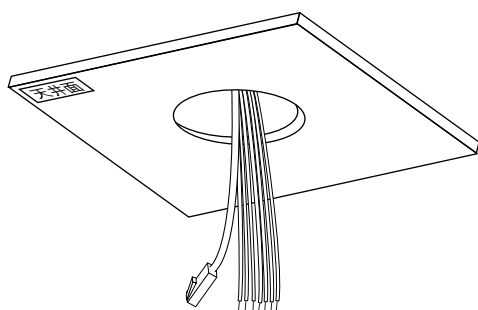
#### 1-1 化粧ゴムを取り、カメラ固定ねじを緩めて外す。

化粧ゴムとカメラ固定ねじは手順 10 で使用します。

#### 1-2 カメラ取付金具を右に 15° 程度まわし、カメラ取付金具を取り外す。

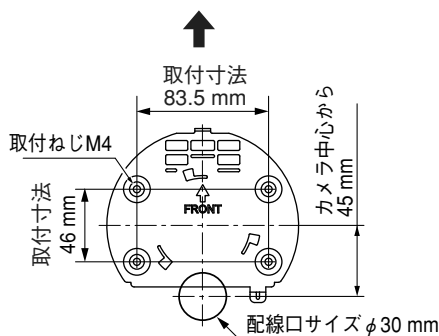


### 2 天井に穴をあけ、ケーブルを引き出す。



#### [カメラ取付寸法および配線口寸法]

カメラ正面方向（フロント）

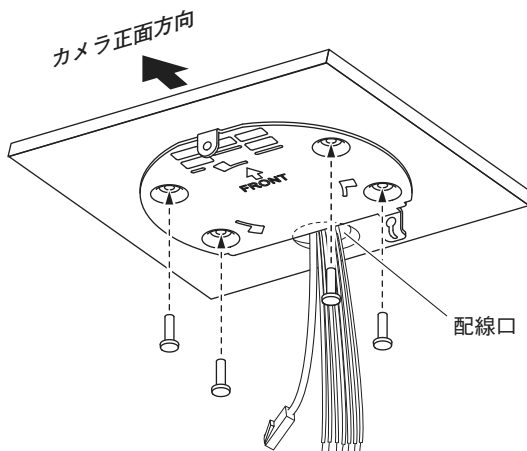


### 3 配線口に天井からのケーブルを通して、カメラ取付金具を天井に取り付ける。

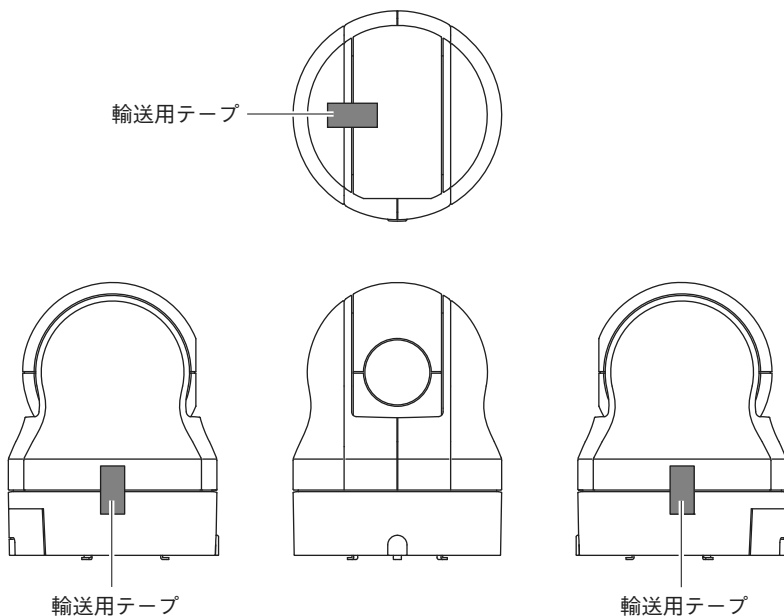
呼び径 4、長さ 25 mm 以上の取付ねじをご使用ください。

#### ご注意

- 天井の強度が十分確保できることを確認したうえで、設置を行ってください。
- 取付ねじは付属していません。設置状況に応じて、強度の確保できるねじを選定してください。
- カメラの正面方向に十分注意して、設置してください。



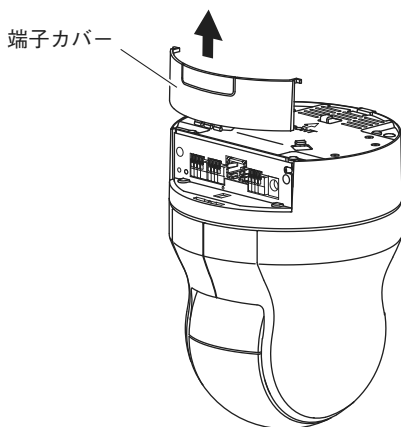
### 4 カメラに貼付されている青色の輸送用テープ(3 カ所)をはがす。



## 5 端子カバーを取り外す。

### ご注意

カメラだけで設置するときは、背面の端子カバーは取り付けできません。端子部の露出を防ぐ場合は、カメラ天井直付金具 C-BC602A (別売品) を使用してください。



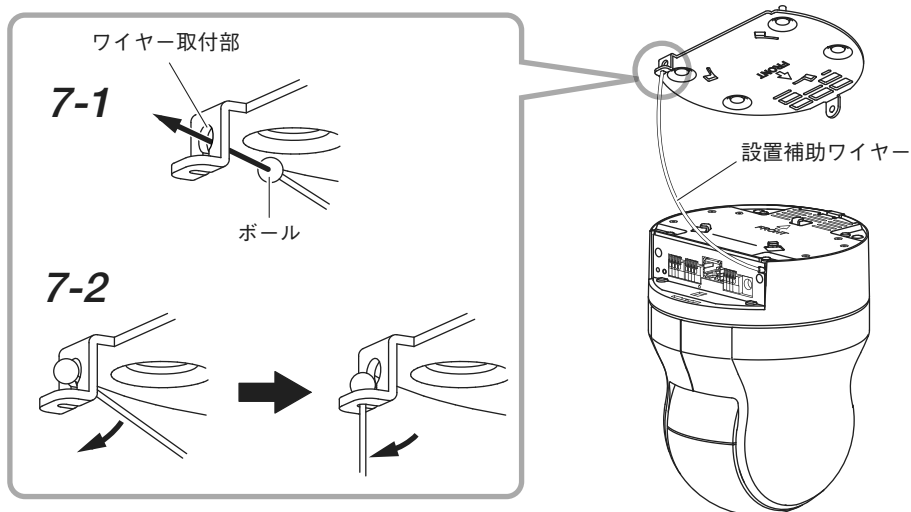
## 6 カメラの DIP スイッチを設定する。

設置方法によって設定は異なります。設定方法は P. 14 を参照してください。

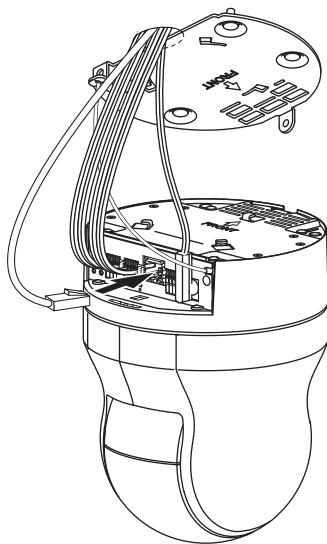
## 7 カメラに固定されている設置補助ワイヤーをカメラ取付金具に取り付ける。

7-1 設置補助ワイヤー先端のボールをワイヤー取付部の穴に内側より通す。

7-2 ワイヤー取付部にボールを通したあと、取付部の溝に沿ってボールを下ろす。



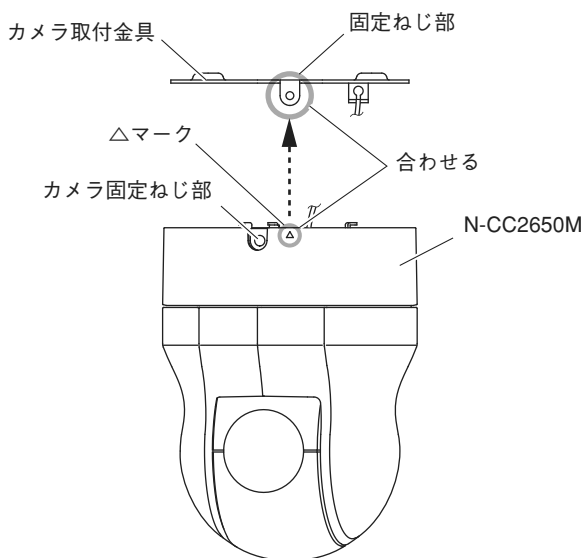
- 8** 天井からのケーブル(電源、LAN、接点入力、接点出力、音声入出力)をカメラに接続する。(P. 15「接続のしかた」参照)



- 9** カメラをカメラ取付金具に取り付ける。

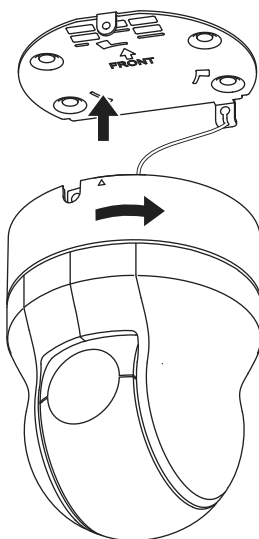
[位置合わせ]

カメラ正面のカメラ固定ねじ部横にある△マークをカメラ取付金具の固定ねじ部に合わせる。



### [仮固定]

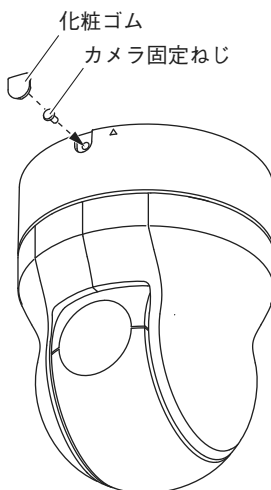
△マークを合わせた状態でカメラをカメラ取付金具に取り付けて、右方向に回す。  
カメラ上面のフック部がカメラ取付金具に引っかかり「仮固定」されます。



- 10** カメラ固定ねじを締め付けてカメラを固定したあと、化粧ゴムを取り付ける。  
手順 1 で取り外したカメラ固定ねじと化粧ゴムを使用します。

### ご注意

カメラだけで設置するときは、手順 5 で取り外した端子カバーは取り付けできません。端子部の露出を防ぐ場合は、カメラ天井直付金具 C-BC602A（別売品）を使用してください。



## ● 天井に穴をあけずに配線する場合

**ご注意** カメラ設置時は、電源を切ってから工事を行ってください。

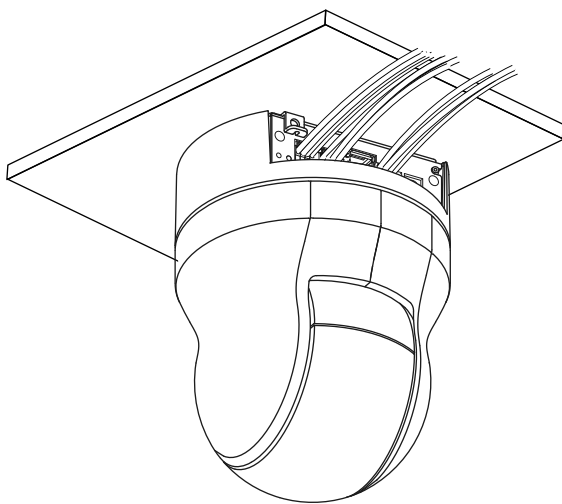
**1** カメラからカメラ取付金具を取り外し、天井に穴をあけずにカメラ取付金具を取り付ける。(P. 17 手順 1、P. 18 手順 3～4 参照)

**2** 端子カバーを取り外したあと、カメラを取り付ける。

設置方法については、P. 19 手順 5～手順 10 を参照してください。

### **ご注意**

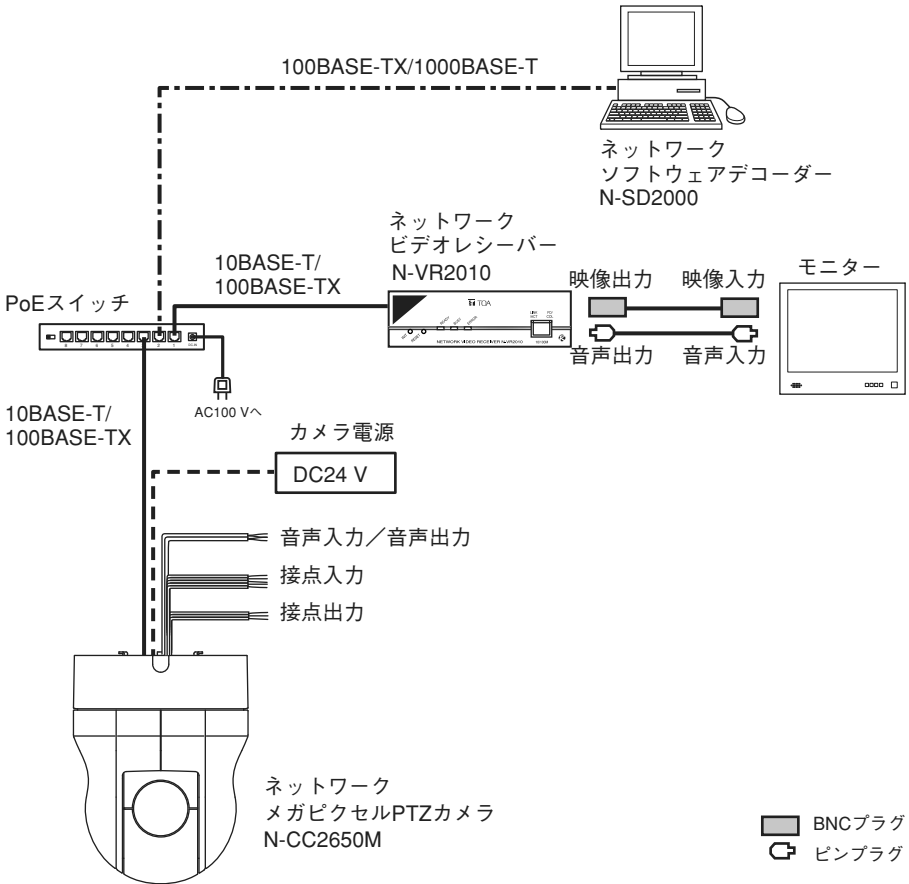
カメラだけで設置するときは、背面の端子カバーは取り付けることができません。端子部の露出を防ぐ場合は、カメラ天井直付金具 C-BC602A (別売品) を使用してください。



## ■ 接続例

ネットワークビデオレシーバーと PC をスイッチに接続し、PC で各機器の設定をすることによりモニターでカメラの映像を見ることができます。付属のネットワークソフトウェアデコーダーを PC にインストールすれば、ネットワークソフトウェアデコーダーからカメラ設定を行ったり、カメラ映像を見ることができます。

本機は RJ-45 コネクター付きカテゴリ 5 規格以上のストレートケーブルを使用してスイッチに接続してください。



**ご注意**

- PoE にてカメラに電源供給する場合は、スイッチから電源供給されますので、カメラ電源入力 DC24 V を接続しないでください。
- 電源を DC24 V で使用する場合は、別売の AC アダプター AD-246 をお使いください。それ以外の電源を使用する場合、電源は定格 DC24 V、600 mA 以上のものをお使いください。
- カメラとスイッチの間の延長距離は、カテゴリ 5 規格以上のケーブルで 100 m 以内にしてください。
- 本機へ接続するときノイズ障害が考えられる場合は、カテゴリ 5 規格以上のシールド付 LAN ケーブル(STP)を使用してください。

## N-SD2000 でカメラの映像を見る

本機に付属の N-SD2000 を PC にインストールすると、カメラの映像表示や設定ができます。設定方法は、ネットワークメガピクセル PTZ カメラ N-CC2650M 設定説明書を参照してください。

### ご注意

- JPEG 方式で出力された映像は表示できません。
- 表示できる最大画素数は D1 (720 × 480) です。SXVGA (1280 × 960) の映像は表示できません。SXVGA の映像は、Web ブラウザーのライブ画面で表示できます。(P. 42 参照)

## ■ カメラ映像を表示する

**1** N-SD2000 を PC にインストールする。(P. 25 参照)

**2** Windows のユーザーアカウント制御(UAC)の設定を解除する。(P. 27 参照)

### ご注意

Windows Vista、Windows 7 をご使用の場合、Windows の設定を変更する必要があります。

**3** N-SD2000 を起動する。(P. 28 参照)

**4** 機器リストを作成する。(P. 33 参照)

**5** 映像を表示する。

- カメラ映像を PC で表示する(P. 38 参照)
- カメラ映像をネットワークビデオレシーバーで表示する(P. 39 参照)



# ■ N-SD2000 を PC にインストールする

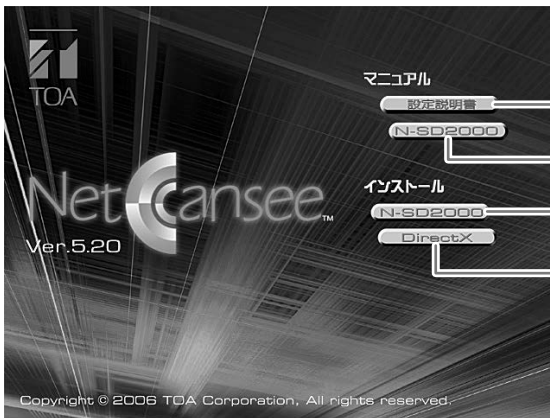
PC に N-SD2000 をインストールします。

## 1 付属の CD-ROM を PC のドライブに入れる。

PC が CD-ROM を認識し、「Netcansee Setup Launcher」が自動で起動します。

### ご注意

CD-ROM ドライブがオートランに対応していないときは、CD-ROM を挿入してもセットアップランチャーは起動しません。自動で起動しないときは、CD-ROM 内の Autorun.exe をクリックしてください。



映像ネットワークシステム設定説明書を開きます。

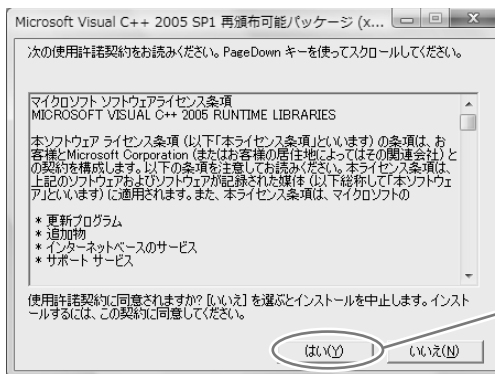
N-SD2000 の取扱説明書を開きます。

N-SD2000 のインストールを開始します。

DirectX のインストールを開始します。

## 2 セットアップランチャー画面内の「インストール」下の「N-SD2000」をクリックして、インストールを開始する。

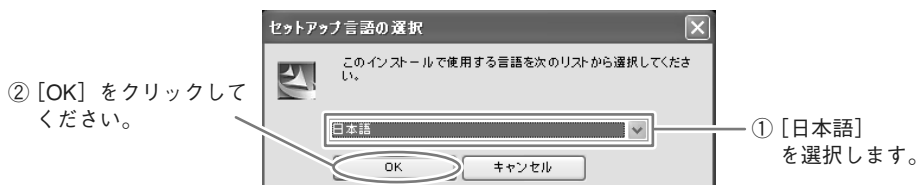
VC2005 runtime のインストールウィンドウが表示されます。



「はい」をクリックしてください。

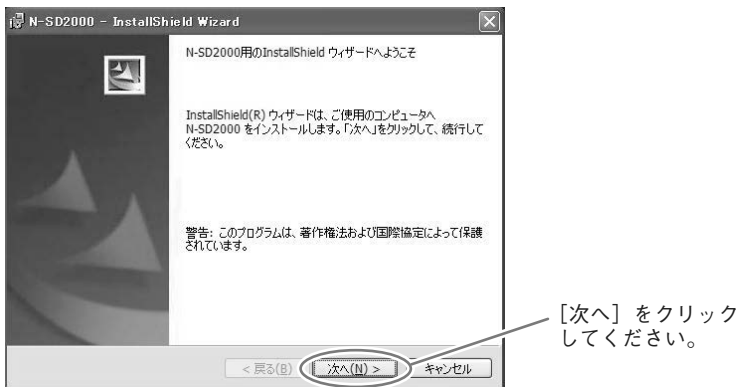
使用許諾契約に同意後、「Borland Database Engine」のインストールウィンドウが表示され、自動でインストールされます。

「Borland Database Engine」のインストールが完了すると、「セットアップ言語の選択」ダイアログが表示されます。



### 3 InstallShield Wizard ウィンドウが表示されます。

画面の指示に従い、「次へ」をクリックし、インストールをしてください。  
インストールの詳細は、N-SD2000 取扱説明書を参照してください。



### 4 インストールを完了する。


インストールが完了後、PC を再起動します。  
再起動後 PC のデスクトップ上に「N-SD2000」のショートカットが作成されます。



## ■ Windows のユーザーアカウント制御（UAC）の設定を解除する

Windows Vista、Windows 7 をご使用の場合、Windows の設定を変更する必要があります。設定を変更しないと、N-SD2000 を Windows のスタートメニューのスタートアップに登録し、Windows の起動時に自動的に起動するようにした場合、Windows Defender の機能により N-SD2000 が起動しません。

Windows Vista の場合は、以下のポップアップが画面右下に表示されます。

 スタートアップ プログラムの一部が windows でブロックされています  
Windows 開始時に、実行にアクセス許可が必要なプログラムはブロックされています。ブロックされたプログラムを表示するにはクリックしてください。

以下は Windows 7 での設定の変更例です。

- 1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を開く。
- 2 「コントロールパネル」の「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」を開く。
- 3 「ユーザーアカウント」を開く。
- 4 「ユーザーアカウント制御設定の変更」を開く。
- 5 ユーザーアカウント制御の設定画面で「通知しない」に設定し、「OK」をクリックして設定を完了する。

### ご注意

UAC を解除することによって生じたセキュリティリスク、障害、損害について、当社は一切責任を負いません。

## ■ N-SD2000 を起動する

PC にインストールした N-SD2000 を起動します。

メモ

- N-SD2000 を起動する前に、DirectX がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合はセットアップランチャーからインストールしてください。
- N-SD2000 を起動する前に、.NET Framework 2.0 がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、Microsoft のホームページより .NET Framework 2.0 をダウンロードし、PC にインストールしてください。

Microsoft 社 .NET Framework ホームページ(2012/7/27 現在)

<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/netframework/aa569263>

[Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 2] へ進み、「NetFx20SP2\_x86.exe」をダウンロードし、インストールしてください。

- N-SD2000 は、インストールを行った管理者権限の Windows アカウントで使用してください。

### 1 デスクトップ上の「N-SD2000」のショートカットをダブルクリックする。

N-SD2000 が起動し、ログインウィンドウが表示されます。

メモ

「スタート」メニューの「プログラム」→「TOA」→「Netcansee」→「N-SD2000」からも起動できます。

#### ご注意

ソフトウェア起動時にディスプレイアダプターの性能の判定が行われます。十分な性能を確保できなかった場合は使用機能が制限され、ログイン画面上に「ディスプレイアダプターの制約により一部機能が使用できません」と警告が表示されます。制限される機能は、以下のとおりです。

- ・ライブ、再生中のスナップショット機能
- ・モーションディテクト設定画面上の矩形表示機能
- ・ライブ、再生中のデジタルズーム機能
- ・ズームビュー機能利用時の白枠表示機能
- ・ライブ中の映像静止機能



ダブルクリックする

## 2 ユーザーを選択する。

管理者を選択してください。

メ モ

詳細は、N-SD2000 取扱説明書の「ユーザーログインレベル」を参照してください。

## 3 パスワードを入力する。

工場出荷時のパスワード設定は「guest」になっています。

## 4 ネットワークアダプターを選択する。(管理者のみ)

「使用するネットワークアダプタ」のリストに PC 上のネットワークアダプターと IP アドレスが表示されます。このリストからカメラと接続されているアダプターを選択してください。

**ご注意**

正しいネットワークアダプターが選択されなかった場合、正常に動作しません。

メ モ

1 つのアダプターに複数の IP アドレスが登録されていると、同一アダプターが IP アドレスの登録数だけ表示されます。利用する IP アドレスを選択してください。

## 5 「OK」をクリックする。

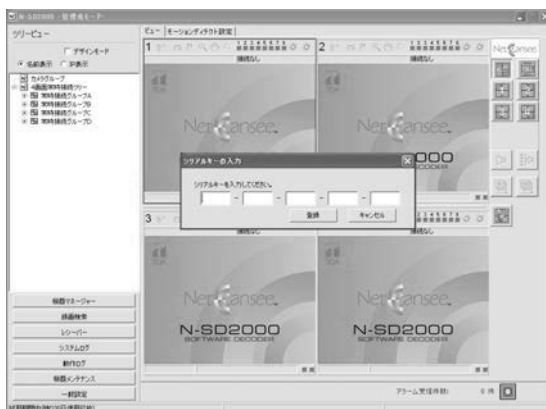
正しいパスワードが入力されると、N-SD2000 のメインウィンドウが表示されます。シリアルキーが未登録の場合は、シリアルキー入力のダイアログが表示されます(下図)。後で登録する場合は「キャンセル」をクリックしてください。

**ご注意**

使用する PC の仕様によっては、メインウィンドウ表示まで時間がかかることがあります。

メ モ

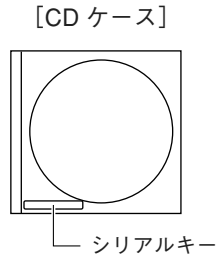
- シリアルキー未登録で使用可能な期間は 30 日です。
- シリアルキーを登録しない場合は、1 時間おきにシリアルキー入力のダイアログが表示されます。



[シリアルキーが登録されていない場合]

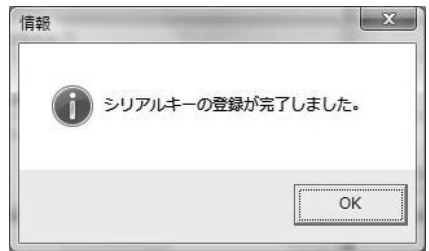
## 6 シリアルキーを入力する。

CD ケースに貼付されているシリアルキーを入力してください。



## 7 「登録」をクリックする。

登録に成功すると「シリアルキーの登録が完了しました」と表示されます。「OK」をクリックすると、N-SD2000 が使用できます。



## ● シリアルキー未登録の場合

[使用開始から 30 日を越えた後に N-SD2000 を起動した場合]

## 1 N-SD2000 を起動する。

シリアルキー入力のダイアログが表示されます。



## 2 シリアルキーを入力する。

CD ケースに貼付されているシリアルキーを入力してください。

## 3 「登録」をクリックする。

登録に成功すると「シリアルキーの登録が完了しました」と表示されます。「OK」をクリックすると、ログインウィンドウが表示されます。

[N-SD2000 起動中に 30 日を越えた場合]

**1** N-SD2000 の画面上に「シリアルキー登録」と「アプリケーション終了」のボタンが表示される。

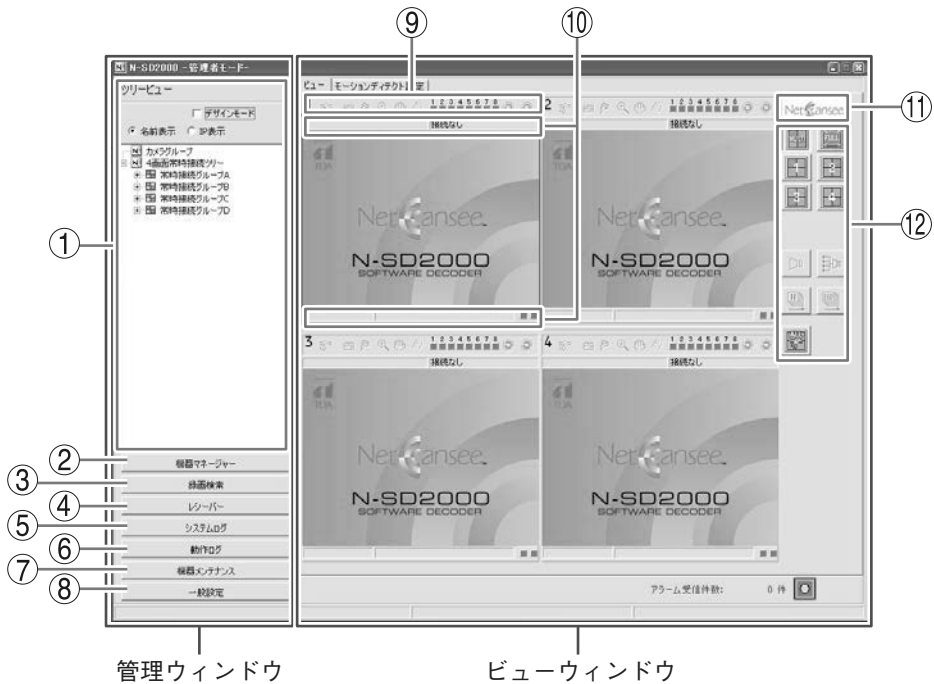
**2** 「シリアルキー登録」をクリックする。  
シリアルキー入力のダイアログが表示されます。

**3** シリアルキーを入力する。  
CD ケースに貼付されているシリアルキーを入力してください。

**4** 「登録」をクリックする。  
登録に成功すると「シリアルキーの登録が完了しました」と表示されます。  
「OK」をクリックすると、引き続き N-SD2000 が使用できます。

メ モ 詳細は、CD に入っている N-SD2000 取扱説明書を参照してください。

## ■ N-SD2000 各部の名称とはたらき



### ① ツリービューエリア

このエリアに表示したいネットワークカメラをグループ分けして、わかりやすく登録できます。

### ② 機器マネージャーボタン

クリックすると、LAN 上に接続されているネットワーク機器を検出して登録するためのウィンドウが表示されます。

### ③ 録画検索ボタン

クリックすると、ネットワークデジタルレコーダー N-DR2000 (生産完了品) の録画を検索するためのウィンドウが表示されます。

### ④ レシーバーボタン

クリックすると、登録されているネットワークビデオレシーバーに映像を表示させるためのウィンドウが表示されます。

### ⑤ システムログボタン

クリックすると、ネットワーク機器のログを表示するシステムログウィンドウが表示されます。

### ⑥ 動作ログボタン

クリックすると、アラーム接続に関する動作ログを表示するウィンドウが表示されます。

### ⑦ 機器メンテナンスボタン

クリックすると、ネットワーク機器のコンフィギュレーションファイル、ファームウェアをメンテナンスするウィンドウが表示されます。

### ⑧ 一般設定ボタン

クリックすると、N-SD2000 の各種設定のためのウィンドウが表示されます。



## ⑨ ツールバー

映像の切断、スナップショット、デジタルズームなどの操作ボタンがあります。

## ⑩ ステータスバー

ビューの情報が表示されます。

## ⑪ Netcansee ロゴ

クリックすると、バージョン情報が表示されます。

## ⑫ 制御ボタン

1 画面、4 画面、フルスクリーン表示の切り換え、音声送信などの制御ボタンがあります。カメラの設定を切り換えます。

# ■ 機器リストを作成する

N-SD2000 にカメラの映像を表示するには、機器リストを作成して、カメラを登録する必要があります。

機器リストにカメラを登録するには、以下の 2 種類の方法があります。

- スキャンを利用して機器リストへ登録する
- 機器リストへ手動で登録する

## ● スキャンを利用して機器リストへ登録する

ネットワークに接続されている機器を検出して、機器リストに登録します。

## 1 管理ウィンドウの「機器マネージャー」をクリックする。

機器マネージャーウィンドウが表示されます。

[機器マネージャーウィンドウ]

## 4 「スキャンリストから機器リストへ追加」をクリックする。



## 1 「機器マネージャー」をクリックする。



## 2 「スキャン」をクリックする。

## 2 「スキャン」をクリックする。

ネットワーク上に接続されている機器がスキャンリストに表示されます。

## 3 スキャンリストに表示された機器のネットワーク設定と、PC の IP アドレスの設定を変更する。

ネットワークカメラおよび PC がネットワークを通じて正常に接続できるように「IP アドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。

ネットワークカメラのネットワーク設定は、スキャンリストに表示されている機器を選択して、右クリックすると設定ウィンドウが表示されます。

ネットワーク設定をクリックして「IP アドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。

[設定例（ネットワークカメラ 2 台と PC 1 台の LAN 接続の場合）]

### 1 台目のネットワークカメラ(工場出荷時設定)

IP アドレス : 192.168.14.1  
サブネットマスク : 255.255.255.0

### 2 台目のネットワークカメラ

IP アドレス : 192.168.14.2  
サブネットマスク : 255.255.255.0

### PC

IP アドレス : 192.168.14.100  
サブネットマスク : 255.255.255.0



### ご注意

- IP アドレスは、上の 3 組は同じアドレスで、最終の 1 組は数字が重ならないように設定してください。
- サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。

### メモ

- PC の IP アドレス変更のしかたについては、P. 37 「PC の IP アドレスの変更のしかた」を参照してください。
- N-SD2000 起動中に PC の IP アドレスを変更した場合は、N-SD2000 の再起動が必要です。IP アドレスを変更した後は、N-SD2000 を再起動してください。

## 4 登録したい機器を選択し、「スキャンリストから機器リストへ追加」をクリックする。

選択した機器が機器リストに登録されます。

メモ

機器リストの機器を削除するときは、機器を選択して「機器を削除」をクリックしてください。

### ご注意

- ネットワーク上をスキャンするときは、ネットワークに接続されて電源が入っている映像ネットワーク機器でローカルブロードキャストが届く範囲の機器が検出されます。
- ネットワークの状態により、すべての情報がリスト表示されない場合があります。
- 機器リストに同一 MAC アドレスの機器がすでに登録されている場合は、機器リストへ登録することができません。
- 接続中の機器は、機器リストから削除することはできません。

## ● 機器リストへ手動で登録する

ネットワークに存在しない機器およびローカルブロードキャストの届かない範囲に設置した機器を機器リストに登録します。

## 1 管理ウィンドウの「機器マネージャー」をクリックする。

機器マネージャーウィンドウが表示されます。

## 2 「機器を追加」をクリックする。

追加機器設定ウィンドウが表示されます。



「機器を追加」をクリックする。

### 3 追加したい機器の品番や IP アドレスを設定します。

ネットワークカメラおよび PC がネットワークを通じて正常に接続できるように「品番」と「IP アドレス」を設定してください。

〔設定例(ネットワークカメラ 2 台と PC 1 台の LAN 接続の場合)〕

#### 1 台目のネットワークカメラ(工場出荷時設定)

IP アドレス : 192.168.14.1

#### 2 台目のネットワークカメラ

IP アドレス : 192.168.14.2

#### PC

IP アドレス : 192.168.14.100

サブネットマスク : 255.255.255.0



追加機器設定ウィンドウ

名称	新しい機器	品番	N-CC2650M
IPアドレス	192.168.14.1		
HTTPポート	80		
SIPポート	5060		
OK キャンセル			

#### ご注意

IP アドレスは、上の 3 組は同じアドレスで、最終の 1 組は数字が重ならないように設定してください。

#### メモ

- PC の IP アドレス変更 PC の IP アドレス変更のしかたについては、P. 37「PC の IP アドレスの変更のしかた」を参照してください。
- N-SD2000 起動中に PC の IP アドレスを変更した場合は、N-SD2000 の再起動が必要です。IP アドレスを変更した後は、N-SD2000 を再起動してください。

### 4 「OK」をクリックすると、設定した機器が登録されます。

機器マネージャーウィンドウが表示されます。

#### メモ

機器リストの機器を削除するときは、機器を選択して「機器を削除」をクリックしてください。

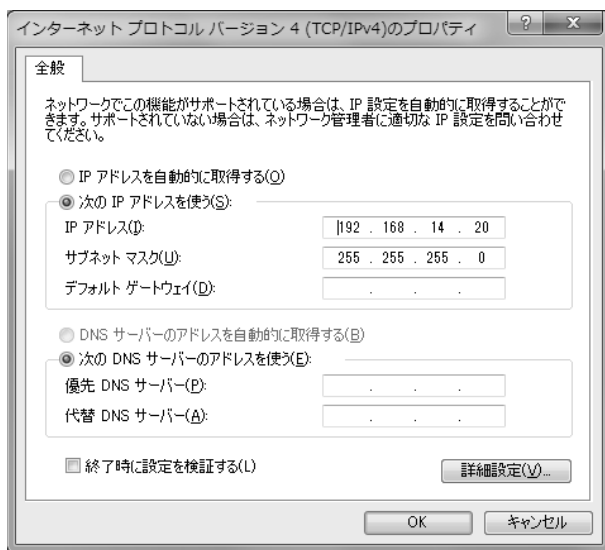
#### ご注意

接続中の機器は、機器リストから削除することはできません。

## ■ PC の IP アドレスの変更のしかた

IP アドレスの変更は、使用する PC の OS によって操作が異なります。  
以下は、Windows 7 に従った操作方法です。

- 1 「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定の変更」の順に選択する。
- 2 「ローカルエリア接続」を選択し、右クリックする。
- 3 「プロパティ」を選択する。
- 4 「インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする。
- 5 画面上の IP アドレスの設定を行う。



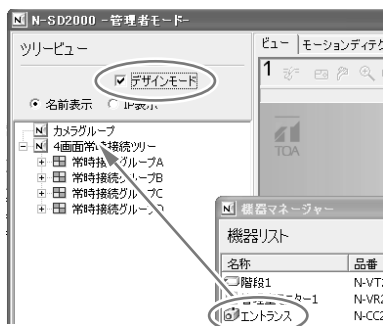
## ■ カメラ映像を PC で表示する

カメラ映像を N-SD2000 上で表示します。

**1** 機器マネージャーウィンドウを表示する。(P. 33 参照)

**2** 機器マネージャーウィンドウ中の機器リストから、ツリービューへ機器を登録する。

ツリービューの「デザインモード」にチェックを入れ、機器リストからツリービュー中のカメラグループへ機器をドラッグ&ドロップして登録します。



**3** カメラ映像を表示させる画面をクリックして指定する。

指定したビューが赤枠選択されます。

☒ モ 1 画面表示では指定の必要はありません。

**4** ツリービューに登録した機器をダブルクリックする。

指定した画面にカメラ映像が表示されます。

**3** 表示させる画面をクリックする。

**4**

ダブルクリックする。



### ご注意

- JPEG 方式で出力された映像は表示できません。
- 表示できる最大画素数は D1 (720 × 480) です。SXVGA (1280 × 960) の映像は表示できません。

## ■ カメラ映像をアナログモニターで表示する

カメラ映像をネットワークビデオレシーバー N-VR2010 (別売品) を使用して表示します。  
機器リストにネットワークビデオレシーバーを登録する必要があります。(P.33「機器リスト  
を作成する」参照)

**ご注意** N-VR2010 から出力される映像は、アナログコンポジット信号となります。

### 1 管理ウィンドウの「レシーバー」をクリックする。

レシーバーウィンドウが表示され、機器リストに登録したレシーバーが表示されます。

### 2 映像を表示させるネットワークビデオレシーバーを選択する。

### 3 モニターに表示するカメラをツリービュー上でダブルクリックする。

ネットワークビデオレシーバーに接続されたモニターにカメラ映像が表示されます。

### 3 ダブルクリックする。

### 2 選択する。

### 1 クリックする。



## ■ カメラを操作する

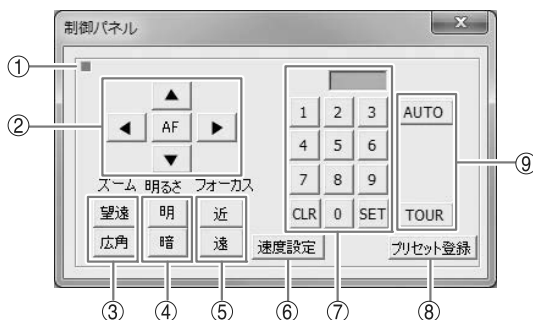
N-SD2000 を使用してカメラの操作ができます。

### 1 N-SD2000 で本機の映像を表示する。

本機の映像が N-SD2000 に表示されると、制御パネルが PC 画面に表示されます。

### 2 制御パネル内のボタンをクリックして操作する。

[制御パネル]



- ① 通信インジケータ : カメラが操作できる場合は緑色、カメラが操作できない場合は紫色で点滅します。
- ② AF : オートフォーカスをします。  
▶ : 右方向にカメラを動かします。  
◀ : 左方向にカメラを動かします。  
▲ : 上方向にカメラを動かします。  
▼ : 下方向にカメラを動かします。
- ③ 望遠 : 望遠動作します。  
広角 : 広角動作します。
- ④ 明 : 映像を明るくします。  
暗 : 映像を暗くします。
- ⑤ 近 : 焦点を近くに合わせます。  
遠 : 焦点を遠くに合わせます。
- ⑥ 速度設定 : 速度設定ウィンドウが開きます。速度設定ウィンドウは、次項を参照してください。



- ⑦ 0～9 : ポジションや数字を入力します。  
 SET : プリセット移動するときに使用します。  
 CLR : 入力表示部に表示された数値を消去するときに使用します。  
 入力表示部 : 0～9のボタンで入力された数値を表示します。
- ⑧ プリセット登録 : 登録したいポジション番号を入力しクリックすると、現在のカメラポジションがプリセット登録されます。
- ⑨ AUTO : オート動作をします。「オート」タブで設定したとおりに動作します。  
 TOUR : 動作させるツアー番号を入力し、クリックするとツアー動作を開始します。

## ● 速度設定ウィンドウ

動作速度を設定します。

速度設定は「微速」、「低速」、「中速」、「高速」から選択できます。



- ① パン・チルトスピード : パン・チルトの動作速度を設定します。  
 ② フォーカススピード : フォーカス時の動作速度を設定します。  
 ③ ズームスピード : ズーム時の動作速度を設定します。  
 ④ 連動 : ①～③の項目を一括して変更するときにチェックを入れます。

## ■ N-SD2000 を終了する

N-SD2000 を終了するには、タイトルバーの「×」ボタンをクリックします。

### ご注意

N-SD2000 を終了する前に、表示中の映像を切断してください。表示中の映像を切断しないで終了すると、次回起動時にしばらく接続できないことがあります。

## N-SD2000 からファームウェアをアップロードする

N-SD2000 を使用してファームウェアの更新ができます。  
本機のファームウェアの拡張子は「.D27」です。  
アップロード手順の詳細は、N-SD2000 取扱説明書を参照してください。

## N-SD2000 をアンインストールする

インストールした N-SD2000 の削除をします。

- 1 「スタートメニュー」から「コントロールパネル」を開く。  
PC で設定する項目が表示されます。
- 2 「プログラムのアンインストール」をクリックする。  
プログラムの追加と削除ウィンドウが表示されます。
- 3 N-SD2000 を選択し、「アンインストール」をクリックする。  
ソフトウェアが削除されます。

**ご注意** N-SD2000 のアンインストールをする前に N-SD2000 を終了してください。

## Web ブラウザーでカメラの映像を見る

Web ブラウザーを使用してカメラ映像を見ることができます。  
対応している Web ブラウザーは以下のとおりです。

Internet Explorer 6 / 7 / 8 / 9

### ご注意

Web ブラウザー操作上のご注意については、Web ブラウザーのオンラインヘルプをご覧ください。

映像ネットワークシステムを動作させるためには、適切な IP アドレスを割り当てる必要があります。IP アドレスとサブネットマスクの工場出荷時は以下に設定されています。

IP アドレス               : 192.168.14.1  
サブネットマスク       : 255.255.255.0

ライブ画面の閲覧と設定操作ができる管理者アカウント「admin」または、ライブ画面の閲覧だけができるユーザーアカウント「user」でログインしてください。

以下は管理者アカウントでログインした場合の説明です。

ユーザーアカウントでログインするときのパスワードは工場出荷時に設定されていません。(空白のままログインできます。)

ユーザーアカウントのパスワードおよび管理者アカウントパスワードの変更については、ネットワークメガピクセル PTZ カメラ N-CC2650M 設定説明書「システム」設定を参照してください。

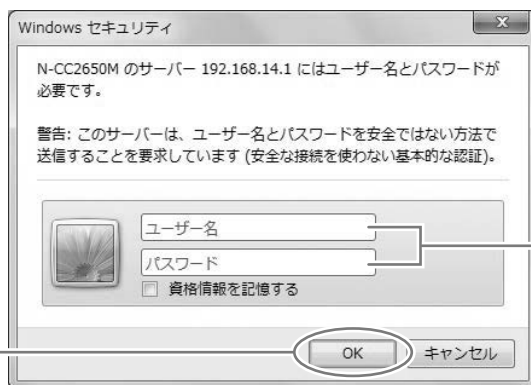
### ご注意

ユーザーアカウントでログインした場合は設定ができないため「設定画面」のボタンは表示されません。

## 1 Web ブラウザーを起動する。

## 2 URL に本機の IP アドレスを入力する。(http://IP アドレス)

パスワード入力画面が表示されます。



3 入力する。

4 クリックする。

## 3 ユーザー名とパスワードを入力する。

ユーザー名とパスワードの工場出荷時は以下に設定されています。

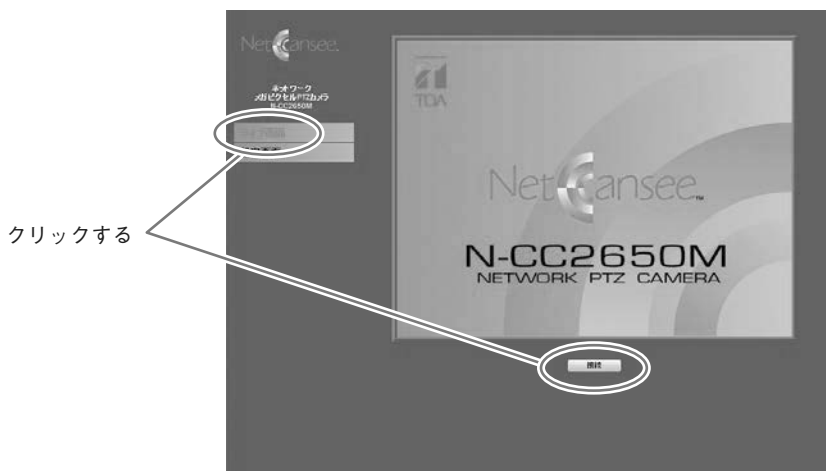
ユーザー名：admin

パスワード：guest

## 4 「OK」をクリックする。

トップ画面が表示されます。

## 5 「ライブ画面」または「接続」ボタンをクリックする。



ライブ画面が表示されます。



ライブ画面には以下の設定項目があります。

- 切断ボタン : ライブ映像を切断します。切断するとトップ画面に戻ります。
- 更新間隔 : ライブ映像の更新間隔を設定します。1 秒～5 秒まで設定ができます。
- 画像サイズ : 画像の画素数を設定します。SXVGA (1280 × 960) VGA (640 × 480)、QVGA (320 × 240) が選択できます。

**メモ** 画質は映像設定で変更できます。詳細は、ネットワークメガピクセル PTZ カメラ N-CC2650M 設定説明書の「映像」設定の中の画質(HTTP)を参照してください。

**ご注意** MPEG-4 方式で出力された映像は表示できません。

## 工場出荷時設定の戻しかた

### ■ すべての設定を工場出荷時に戻す

- 1 電源を投入している状態で初期化スイッチ(INITIALIZE)を押しながらリセットスイッチ(RESET)を押す、または初期化スイッチ(INITIALIZE)を押しながら電源を再投入する。
- 2 READY LED（緑）が点滅から点灯に変わるまで初期化スイッチ(INITIALIZE)を押し続ける。

### ■ Web ブラウザーで設定した内容を工場出荷時設定に戻す

Web ブラウザーで設定した内容\*を工場出荷時設定に戻すときは、メンテナンス設定画面の「初期化」ボタンで行います。

ただし、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは工場出荷時設定には戻りません。

詳細は、ネットワークメガピクセル PTZ カメラ N-CC2650M 設定説明書を参照してください。

\* N-SD2000 でも設定できる項目があります。

### ■ カメラ設定を工場出荷時設定に戻す

設定パネルで設定した内容を工場出荷時設定に戻すときは、設定パネルの「工場出荷時設定」ボタンで行います。

詳細は、ネットワークメガピクセル PTZ カメラ N-CC2650M 設定説明書を参照してください。

### ■ 工場出荷時設定に戻る項目

○印が工場出荷時設定に戻る項目、×印が現在の設定を保持する項目です。

	Web ブラウザーの設定項目*		設定パネルの 設定項目
	IP アドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ	左記以外	
機器本体の初期化スイッチ (INITIALIZE)	○	○	×
Web ブラウザーの初期化ボタン	×	○	×
設定パネルの 工場出荷時設定ボタン	×	×	○

\* N-SD2000 でも設定できる項目があります。

## 故障かな？と思ったら

症 状	考えられる原因	対処のしかた
起動しない(READY LED (緑)が点灯しない)。	<p>電源が入っていない。</p> <p>[電源に PoE 対応のスイッチを使用する場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PoE 対応のスイッチに接続されていない。</li> <li>• PoE 対応スイッチの PoE 機能が有効になっていない。</li> <li>• PoE 対応スイッチの PoE 非対応ポートに接続されている。</li> <li>• PoE 対応スイッチの供給電力を超過している。</li> <li>• PoE 対応スイッチの電源が入っていない。</li> </ul> <p>[電源に DC24 V を使用する場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 接続する端子が間違っている。</li> </ul>	<p>電源を入れてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• PoE 対応のスイッチに接続してください。</li> <li>• PoE 機能を有効にしてください。</li> <li>• PoE 対応ポートに接続してください。</li> <li>• 供給電力内に納まるよう、接続数を減らしてください。</li> <li>• PoE 対応スイッチの電源を入れてください。</li> </ul> <p>• 正しく接続してください。</p>
LINK/ACT LED (緑)が点灯しない。	本機のネットワーク端子にケーブルが正しく接続されていない。	ケーブルの種類(カテゴリー、クロス／ストレート)と接続するポートが適切であることを確認し、正しく接続してください。
夜中などで被写体が暗くなったときに、残像が出る。	カメラの感度アップ機能が動作している。	残像が気になるときは、感度アップの倍率を下げてください。*
時計の年月日が大きくずれている。(電源を再投入すると時刻が「1月1日0時」になる)	内部時計のバックアップ用の電池が切れている。	販売店にお問い合わせください。または最寄りの営業所、お客様相談センターにご相談ください。
ネットワークソフトウェアデコーダーなどからカメラ設定が設定できない。	本機が故障している可能性があります。	販売店にお問い合わせください。または最寄りの営業所、お客様相談センターにご相談ください。
Web ブラウザーで接続できない。Web ページが表示されない。	<p>[ルーターを介していない場合]</p> <p>本機と PC の IP アドレスのサブネットマスクが機器と一致していない。</p> <p>[ルーターを介している場合]</p> <p>本機または PC のデフォルトゲートウェイが正しく設定されていない。</p>	本機および PC の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを適切に設定してください。*

症 状	考えられる原因	対処のしかた
起動(READY LED が点灯するまで)に時間がかかる。	DHCP がオンになっているが、DHCP サーバーが応答しない。 または NTP が設定されているが、NTP サーバーが応答しない。	DHCP サーバー、または NTP サーバーが正常に動作しているか確認してください。 DHCP、NTP を使用しない場合は設定しないでください。*
映像を表示していると、自動的に切断される。	優先制御によって接続が切断された。	システム内の他の機器の接続設定を確認してください。*
	ファームウェアのアップデートが開始した。	ファームウェアのアップデートが完了するまで待ってください。*
	接続タイプが両エッジの接点入力による接続で、接点入力がオフされた。	接点入力がオフになっても切断したくない場合は、接続タイプを片エッジに設定してください。*
	以下の接続で映像を表示しているとき、N-VR2010 または N-SD2000 の「自動切断」によって切断された。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続タイプが片エッジに設定されている接点入力による接続</li> <li>● モーションディテクトによる接続</li> </ul>	自動切断したくない場合は、以下の設定をしてください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● N-VR2010 を使用しているとき「システム」設定の「アラーム続オプシヨン：自動切断」を「なし」にする*</li> <li>● N-SD2000 を使用しているとき「一般設定」アラームタブ内の自動切断を「なし」にする</li> </ul>
映像を表示していると、自動的に切断される。	機器が内部異常を検知し、自動的に再起動した。	N-VR2010 の「常時接続」、N-DR2000 (生産完了品) の「常時録画」を設定してください。 再起動後に接続、録画が自動で再開します。*
映像がコマ落ちする。	画質優先になっている。	「映像」設定や「接続」設定の「画質」を「動き優先」にしてください。*
	フレームレートが低い。	「映像」設定や「接続」設定の「フレームレート」の設定を高くしてください。*
	ビットレートが低い。	「映像」設定や「接続」設定の「ビットレート」の設定を高くしてください。 ただし、ご使用になっているネットワークの帯域よりも高い値に設定すると、パケットロスが発生し、症状は改善されませんのでご注意ください。*

症 状	考えられる原因	対処のしかた
映像が数秒間更新されず静止したままになっている。	ネットワークの帯域が低い、あるいはインターネットを経由しているなど、ネットワーク環境の影響でパケットロスやパケットの順序入れ換えが発生している。	ご使用になっているネットワークの帯域を確認し、適切なビットレートを設定してください。または、Iフレーム間隔を短くしてください。*
音質が悪い。 (帯域が低い。)	サンプリングレートが 8 kHz になっている。	「音声」設定で「サンプリングレート」を「32 kHz」に設定してください。*

\* 詳しくは、ネットワークメガピクセル PTZ カメラ N-CC2650M 設定説明書を参照してください。



# 仕 様

\*2 0 dB = 1 V

電	源	DC24 V ジャック、PoE (IEEE802.3af) RJ45 *1
消 費 電 力		静止 400 mA (最大 550 mA) : DC24 V、12.95 W : PoE
音 声 入 力		1 系統、-10 dB *2、10 k Ω、不平衡
音 声 出 力		1 系統、-10 dB *2、ローインピーダンス、不平衡
接 点 入 力		3 系統、無電圧マイク接点入力、開放電圧：DC5 V、短絡電流：10 mA 以下、ツープース端子台
接 点 出 力		2 系統、オープンコレクター出力、耐電圧：DC30 V、制御電流：20 mA、ツープース端子台
プ リ セ ッ ト 記 憶 数		64 + ホーム動作(1 パターン)
オ ー ト 動 作		オートパン、オートチルト、ツアー (4 パターン)
カ	撮 像 素 子	1/3 型 IT-CCD
	有 効 画 素 数	1296 (H) × 966 (V)、125 万画素(総画素数：132 万画素)
	走 査 方 式	プログレッシブ
	走 査 周 波 数	水平：16.875 kHz、垂直：15 Hz
メ	最 低 被 写 体 照 度	1.0 lx (50 IRE)、0.2 lx (20 IRE) (カラー、スローシャッター OFF 時) 0.1 lx (50 IRE)、0.02 lx (20 IRE) (白黒、スローシャッター OFF 時) 0.25 lx (50 IRE)、0.05 lx (20 IRE) (カラー、スローシャッター OFF 時、 感度アップ 4 倍時、換算値) 0.025 lx (50 IRE)、0.005 lx (20 IRE) (白黒、スローシャッター OFF 時、 感度アップ 4 倍時、換算値)
	逆 光 補 正	OFF / E-WDR / パターン 1 / パターン 2 / パターン 3
	感 度 ア ッ プ (スローシャッター)	OFF、2 倍、4 倍
	ホ ワ イ ト バ ラ ンス	AWB / ATW / ナトリウム灯 / 水銀灯
ラ	フ リ ッ カ ー レ ス	自動補正
	電 子 ズ ー ム	12 倍
	オ ー ト フ ォ ー カ ス	ストップ AF
	ズ ー ム 倍 率	18 倍
レ ン ズ	実 効 焦 点 距 離	f = 4.7 ~ 84.6 mm (18 倍)
	実 効 最 大 画 角	水平：55.2° (W) ~ 3.2° (T)、垂直：41.9° (W) ~ 2.8° (T)
	最 大 口 径 比	F1.6 (W) ~ 2.8 (T)
	ズ ー ム 動 作 速 度	TELE端からWIDE端まで約4.8秒(プリセット時)、約4.8秒(マニュアル時)
旋 回 台	回 転 範 囲	水平：0° ~ 360° 非エンドレス、垂直：+20° ~ -200° *3
	回 転 速 度	水平/垂直:最大 150° /s (プリセット時)、最大 150° /s (マニュアル時)

ネットワーク I/F	ネットワーク I/F	10BASE-T/100BASE-TX、自動／固定：RJ45
	ネットワークプロトコル	TCP、UDP、SIP、RTP、IGMP、HTTP、ARP、DHCP、DNS、SNTP、FTP、SMTP
	映像圧縮方式／画素数	MPEG-4 (RTP) : D1 (720 × 480)、Half D1 (720 × 240)、QVGA (320 × 240) JPEG (RTP) : SXVGA (1280 × 960)、D1 (720 × 480)、Half D1 (720 × 240)、QVGA (320 × 240) JPEG (HTTP) : SXVGA (1280 × 960)、D1 (720 × 480)、Half D1 (720 × 240)、VGA (640 × 480)、QVGA (320 × 240)、QQVGA (160 × 120)
	フレームレート*4	MPEG-4 (RTP) : 最大 15 fps JPEG (RTP) : 最大 5 fps JPEG (HTTP) : 最大 15 fps (SXVGA は最大 7.5 fps)
	音声圧縮伸縮方式	サブバンド ADPCM、PCM (圧縮なし)
	音声サンプリング周波数	8 kHz、32 kHz
	画像伝送レート	MPEG-4：最大 4 Mbps
	同時アクセス数	MPEG-4 (RTP) : 4 (ストリーミングモード時は無制限) JPEG (RTP) : 1 JPEG (HTTP) : 16
	対応 Web ブラウザー	Internet Explorer 6 / 7 / 8 / 9
	機能	デイナイト (白黒モード切換)、プライバシーマスク (8 箇所設定可能)、モーションディテクト、フリーズプリセット、オートフリップ、ノイズリダクション
使用温度範囲		-10℃～+50℃ (0℃以下は連続通電時)
使用湿度範囲		90 % RH 以下 (ただし結露のないこと)
仕上		ケース：ポリカーボネート／ABS 樹脂、クールグレー
寸法		φ 130 × 175 (H) mm
質量		1.3 kg

\*1 DC24 V / PoE の切り換えは DIP スイッチにて行います。

\*3 チルト角度が +10° 以上および -190° 以下では、カメラのケースが映像上、黒く映り込みます。

\*4 被写体や画質設定、ビットレート設定、JPEG と MPEG-4 の同時使用などの影響によって最大フレームレートが低下する場合があります。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● パーソナルコンピューター要件(ネットワークソフトウェアデコーダー処理用)

パ ソ コ ン		PC-AT 互換機(ネットワーク対応)
パ ソ コ ン 要 件	CPU	: Pentium4 3 GHz 以上、Intel Core 2 Duo 1.5 GHz 以上
	メモリー	: 512 MB 以上 (Windows XP)、 2 GB 以上 (Windows Vista、Windows 7)
	ディスプレイアダプター	: XGA (1024 × 768 ドット) 以上、Intel チップセット、 DirectX9.0a 以上対応
	サウンドコントローラー	: DirectX9.0a 以上対応
	ネットワークアダプター	: 100BASE-TX 以上
O	S	Windows XP Professional (32 bit 版)* <sup>5</sup> 、Windows Vista Business (32 bit 版)、 Windows 7 Professional (32 bit 版)

\*<sup>5</sup> .NET Framework 2.0 が別途必要です。

- ※ 本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ※ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ※ Pentium、Intel Core は米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- ※ その他の会社名および製品名も各社の商標です。
- ※ ネットワークソフトウェアデコーダー N-SD2000 (付属品)は、NAT (ポートフォワーディング、NAPT、IP マスカレード)には対応していませんので、WAN 環境で使用する場合は、VPN などの直接プライベートアドレスで通信できる環境でご使用ください。

● 付属品

CD（ネットワークソフトウェアデコーダー：N-SD2000、取扱説明書(PDF)） ..... 1

● 別売品

屋内用金具

- カメラ天井直付金具 : C-BC602A
- カメラ天井吊下金具 : C-BC602P
- カメラ天井埋込金具(透明ドーム付) : C-BC602U \* 6、\* 7
- カメラ天井埋込金具(スモークドーム付) : C-BC602U-S \* 6
- カメラ壁取付金具 : C-BC602W

屋外用金具

- カメラ屋外用ドーム型取付金具 : C-BC602H \* 6
  - 吊下げ金具 : C-BC711P
  - 壁取付金具 : C-BC711W
  - カメラポール取付金具 : C-BC771PM
  - スモークドームカバー : C-A771DM \* 6
  - ポール取付バンド : YS-60B
- (ポール取付：C-BC602H + C-BC711W + C-BC771PM + YS-60B)

AC アダプター : AD-246（電源コード：2 m）

\* 6 ドームカバーの影響により解像度が低下します。  
\* 7 C-BC602U には、ドームカバー部を取り外して設置することができる補助カバーを付属しています。補助カバーを使用すると、ドームカバーの影響をなくした状態で天井に埋め込み設置できます。

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。	TOA お客様相談センター		フリーダイヤル 0120-108-117
	商品の内容や組み合わせ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日除く）		ナビダイヤル 0570-064-475（有料） FAX 0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。

